

## 【別紙様式 5】

## 再々々評価事業に関する調書

番 号	1	事 業 名	土地区画整理事業	路線又は箇所名等	新田・下宿地区
事業化年度	昭和58年度	用地着手年度	昭和61年度	工事着手年度	平成元年度

## 【再々評価の概要】

( ) は計画路線を5路線とした場合

再々評価実施年度 (基準年)	平成15年度	供用開始年度	平成20年度	対応方針	継続
B / C	1.95 (1.63)	総費用	46.03 億円 (81.28)億円	総便益	89.79 億円 (132.29)億円

## 再々評価時の委員会の意見 及び当時の状況

(委員会の意見)

・特になし

(当時の状況)

- ・地権者との仮換地に対する調整及び家屋の移転交渉が難航した。
- ・税収の大幅な減収により、十分な予算確保が出来なかった。

## 再々評価時の進捗状況及び再評価時想定の5年後の進捗状況

	計 画	進捗状況(H14 年度末)	5年後の想定進捗状況(H19 年度末)
全体事業費	172.45 億円	117.89 億円(68.4%)	161.85 億円(93.8%)
移転戸数	419 戸	303 戸(72.3%)	403 戸(96.2%)
仮換地指定面積	249,696.54 m <sup>2</sup>	230,417.82 m <sup>2</sup> (92.3%)	249,696.54 m <sup>2</sup> (100%)

## 【再々々評価の概要】

再々々評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始年度	平成23年度	対応方針	継続
B / C	2.94	総費用	99.64 億円	総便益	293.02 億円

## 現在の進捗状況

	計 画	進捗状況(H19 年度末)
全体事業費	172.45 億円	147.62 億円(85.6%)
移転戸数	419 戸	365 戸(87.1%)
仮換地指定面積	249,696.54 m <sup>2</sup>	238,555.82 m <sup>2</sup> (95.5%)

再々評価後の経過  
及び  
処理状況

- ・本地区は既存市街地であり、建物が密集しているため、それぞれの建物が相互に移転の支障となり、通常に移転方法がとれないため、残事業を考慮し施行期間を平成21年度から変更予定である。
- ・平成20年3月に都市計画道路3・4・18号八幡新田線の開通に伴い、旧県道千葉鴨川線沿いの建物移転及び宅地造成を行っていく。